

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 11 月 1 日 (2012.11.1)

【公開番号】特開 2011-204434 (P2011-204434A)

【公開日】平成 23 年 10 月 13 日 (2011.10.13)

【年通号数】公開・登録公報 2011-041

【出願番号】特願 2010-69835 (P2010-69835)

【国際特許分類】

H 0 1 J 61/35 (2006.01)

H 0 1 J 61/52 (2006.01)

H 0 1 J 61/12 (2006.01)

H 0 1 J 61/16 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 61/35 K

H 0 1 J 61/52 L

H 0 1 J 61/12 J

H 0 1 J 61/16 L

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 19 日 (2012.9.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

紫外線透過性の材料で異なる管径の中心軸を同一にして配置した内管および外管から構成される円筒状の二重管と、

前記二重管の内管内に配置した紫外線透過性の材料からなる気密容器内に、一対の耐火性金属からなる放電電極を封装し、該放電電極周辺の前記気密容器の表面に無機接着剤による保温膜を形成し、前記気密容器内に少なくとも希ガス、水銀、マグネシウム、鉄、タリウムおよびハロゲンが封入された封入物が封入されたメタルハライドランプと、

前記二重管の内管と外管の間に冷却用媒体を流し、前記メタルハライドランプから発生の熱を冷却させる冷却機構と、を具備したことを特徴とする紫外線照射装置。

【請求項 2】

前記無機接着剤は、シリカ、アルミナ、ポリアクリル酸を主成分としたものであることを特徴とする請求項 1 記載の紫外線照射装置。

【請求項 3】

前記保温膜は、前記放電電極周辺に塗布した無機接着剤であることを特徴とする請求項 2 記載の紫外線照射装置。

【請求項 4】

紫外線透過性の材料からなる気密容器と、

前記気密容器内に封装されている一対の耐火性金属からなる放電電極と、

前記気密容器内に少なくとも希ガス、水銀、マグネシウム、鉄、タリウムおよびハロゲンが封入された封入物と、

前記放電電極周辺の前記気密容器の表面に無機接着剤により形成された保温膜とを具備したことを特徴とするメタルハライドランプ。